

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月4日
上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ノリタケカンパニーリミテド
 コード番号 5331 URL <http://www.noritake.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 忠
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 中村 吉雅 TEL 052-561-7116
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	25,938	△3.1	402	△34.3	836	△18.3	392	△52.7
28年3月期第1四半期	26,758	24.0	612	272.1	1,024	92.9	830	234.6

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △1,115百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 3,613百万円 (129.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	2.73	—
28年3月期第1四半期	5.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	133,335	78,164	56.4	523.96
28年3月期	135,931	79,765	56.5	534.53

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 75,232百万円 28年3月期 76,749百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	3.00	—	30.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※当社は、平成28年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施する予定であるため、平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は3円となり、1株当たり年間配当金は6円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	53,000	△1.9	800	△41.5	1,500	△24.2	900	△62.4	6.27
通期	109,000	△0.6	2,400	△30.4	3,800	△20.5	2,400	△45.6	167.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※平成29年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益は16円71銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	158,428,497株	28年3月期	158,428,497株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	14,844,425株	28年3月期	14,843,978株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	143,584,376株	28年3月期1Q	143,603,554株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中でありませぬ。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては実際の業績と異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他関連する事項につきましては、【添付資料】2ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

2. 当社は、平成28年6月29日開催の第135期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施する予定です。なお、株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりです。

- (1) 平成29年3月期の配当予想
 - 1株当たり配当金
 - 第2四半期末 3円
 - 期末 3円
- (2) 平成29年3月期の連結業績予想
 - 1株当たり当期純利益
 - 第2四半期末（累計） 6円27銭
 - 通期 16円71銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は259億38百万円（前年同期比3.1%減少）、営業利益は4億2百万円（前年同期比34.3%減少）、経常利益は8億36百万円（前年同期比18.3%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億92百万円（前年同期比52.7%減少）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

(工業機材)

国内市場では、主要客先である自動車の生産に回復の兆しが見られたものの、鉄鋼、ベアリング、電子半導体は依然として回復が遅れ、売上げは微減となりました。海外市場では、中国では自動車関連が堅調に推移し、米国における自動車向けも増加しましたが、年初から円高の影響を受け、売上げは減少しました。日本レヂボンの事業は、欧州向けが減少しましたが、インドネシア等のアジア向け及び中南米向けが堅調に推移し、売上げは微増となりました。その結果、工業機材事業の売上高は、140億64百万円（前年同期比1.2%減少）、営業利益は98百万円（前年同期比70.2%減少）となりました。

(セラミック・マテリアル)

電子ペーストは、主力の国内向けMLCC用が減少したため、売上げは大きく減少しました。セラミックス製品は、石膏は陶磁器用の東南アジア向けが増加したものの、厚膜回路基板は車載用が振るわず、セラミックコアも顧客の在庫調整を受け低迷し、売上げは減少しました。蛍光表示管は国内向けが不調だったことに加え、海外向けも為替の影響を受けたことから、売上げは大きく減少しました。共立マテリアルの事業は、電子部材は好調でしたが、セラミック原料が減少したため、売上げは減少しました。その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は、68億58百万円（前年同期比9.6%減少）、営業利益は4億11百万円（前年同期比7.2%増加）となりました。

(エンジニアリング)

主力の乾燥炉及び焼成炉は、従来からの電子部品やリチウムイオン電池向けに加え、自動車部品向けの需要を取り込むことにより、売上げは微増となりました。濾過装置はベアリング向けが大きく減少したものの、混合攪拌装置は化学向けが堅調に推移し、食品向けの設備更新需要も加わり、売上げは伸長しました。超硬丸鋸切断機は、国内向けが増加したことにより、売上げは増加しました。その結果、エンジニアリング事業の売上高は、28億27百万円（前年同期比9.9%増加）、営業利益は1億23百万円（前年同期比608.8%増加）となりました。

(食器)

国内市場では、ホテル・レストラン向けや、エアライン向けなど堅調な分野もありましたが、百貨店向けや小売りは低調に終わり、売上げは減少しました。海外市場では、主力の米国市場が低迷し、欧州市場も低調に推移したため、アジア市場でエアライン向け及び一般消費者向けが増加したものの、売上げは減少しました。その結果、食器事業の売上高は、21億88百万円（前年同期比7.5%減少）、2億31百万円の営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が減少したことに加え、保有株式の株価下落に伴い投資有価証券の時価総額が減少したことから、前連結会計年度末に比べ25億96百万円減少し、1,333億35百万円となりました。

負債は、未払法人税等及び流動負債の引当金が減少したことに加え、その他有価証券評価差額金の減少により固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が減少したことから、前連結会計年度末に比べ9億95百万円減少し、551億70百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定の減少により、前連結会計年度末に比べ16億0百万円減少し、781億64百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は平成28年5月12日発表の見直しを変更しておりません。業績予想に修正が必要となった場合には速やかに開示する予定です。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,720	11,271
受取手形及び売掛金	28,556	26,710
電子記録債権	2,262	2,245
商品及び製品	8,427	8,280
仕掛品	3,778	4,168
原材料及び貯蔵品	4,387	4,190
その他	2,298	2,498
貸倒引当金	△30	△24
流動資産合計	60,402	59,341
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,656	17,325
土地	13,507	13,442
その他(純額)	12,782	12,658
有形固定資産合計	43,946	43,426
無形固定資産	1,200	1,165
投資その他の資産		
投資有価証券	29,184	28,236
退職給付に係る資産	122	125
その他	1,207	1,166
貸倒引当金	△132	△127
投資その他の資産合計	30,382	29,401
固定資産合計	75,529	73,993
資産合計	135,931	133,335
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,307	8,975
電子記録債務	4,239	4,614
短期借入金	12,730	12,832
1年内返済予定の長期借入金	2,011	1,988
未払法人税等	700	273
引当金	1,463	416
設備関係支払手形	236	127
営業外電子記録債務	229	248
その他	3,735	4,767
流動負債合計	34,655	34,243
固定負債		
長期借入金	13,474	13,359
引当金	276	174
退職給付に係る負債	2,064	2,026
その他	5,696	5,365
固定負債合計	21,511	20,926
負債合計	56,166	55,170

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,783	18,783
利益剰余金	39,286	39,248
自己株式	△3,991	△3,991
株主資本合計	69,711	69,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,106	9,399
為替換算調整勘定	△1,660	△2,649
退職給付に係る調整累計額	△1,407	△1,189
その他の包括利益累計額合計	7,038	5,559
非支配株主持分	3,015	2,932
純資産合計	79,765	78,164
負債純資産合計	135,931	133,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
売上高	26,758	25,938
売上原価	19,670	19,014
売上総利益	7,088	6,924
販売費及び一般管理費		
販売費	4,378	4,379
一般管理費	2,097	2,142
販売費及び一般管理費合計	6,475	6,521
営業利益	612	402
営業外収益		
受取利息	12	16
受取配当金	278	298
受取賃貸料	80	105
為替差益	33	—
持分法による投資利益	60	126
その他	38	45
営業外収益合計	503	592
営業外費用		
支払利息	44	20
為替差損	—	71
固定資産賃貸費用	33	32
その他	13	32
営業外費用合計	91	157
経常利益	1,024	836
特別利益		
固定資産売却益	15	8
特別利益合計	15	8
特別損失		
固定資産処分損	11	9
関係会社整理損	—	69
その他	0	14
特別損失合計	11	94
税金等調整前四半期純利益	1,028	751
法人税、住民税及び事業税	247	183
法人税等調整額	△125	111
法人税等合計	121	295
四半期純利益	906	455
非支配株主に帰属する四半期純利益	76	63
親会社株主に帰属する四半期純利益	830	392

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	906	455
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,855	△708
為替換算調整勘定	△187	△1,071
退職給付に係る調整額	35	220
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△11
その他の包括利益合計	2,706	△1,571
四半期包括利益	3,613	△1,115
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,521	△1,086
非支配株主に係る四半期包括利益	92	△29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	14,230	7,589	2,573	2,365	26,758
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	331	384	17	△120	612

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	14,064	6,858	2,827	2,188	25,938
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	98	411	123	△231	402

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。